

書体を変更しました！

皆様お気づきでしょうか。本文を試験的に目に優しい書体に変えました。まずは下の比較をご覧ください。これは3ページの決算審査特別委員会の記事を新しい書体と、これまでの書体と比べてみたものです。

新しい書体

〔質疑〕指定管理者制度の導入による実績はどのようなものだったのか伺いたい。

〔答弁〕全体的に見ると、その効果はすぐには現れない。地区公民館の場合には、委託料分が増加するが、これ

これまでの書体

〔質疑〕指定管理者制度の導入による実績はどのようなものだったのか伺いたい。

〔答弁〕全体的に見ると、その効果はすぐには現れない。地区公民館の場合には、委託料分が増加するが、これ

いかがでしょうか。文字の大きさは変えていません。

よくご覧いただくと文字の横幅が大きく丸みをおびたものであることがわかります。

このような書体は近ごろ様々な出版物に採用されていますが、議会広報特別委員会では、次のような意見もありました。

- 横幅が少し広いのだから、紙面全体のレイアウトを工夫しないと、これまで以上に文字がぎっしり詰まった印象になり、かえって読みづらくなるのではないか。
- 上記の問題解決のために、さらに写真やイラストを多用するべきではないか。

これらの課題に取り組みながら、今回の第155号から、すべてのページで、この書体を使用してまいりますので、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は
12月8日(火)開催予定です。
午前10:00～



お問い合わせ先
電話 22-1351 議会事務局まで

議会広報特別委員会 委員

委員長	四 龍 英 夫
副委員長	安 斎 多 実 男
委員	沼 倉 昭 仁 子
委員	管 野 恭 裕 一
委員	山 田 裕 知 一
委員	平 間 知 一
委員	制 野 敬 一

編集後記

アフリカ地方に「一人の高齢者を失うことは一つの図書館を失うに等しい」との諺があります。人生の大先輩への強く大きい尊敬と信頼の念をうかがうことができず。

長寿世界一の日本、本市にも多くの大先輩の方々が仕事・地域・家庭等々において活躍されています。時代の様々な場面に遭遇し、悲喜こもももを越えてこられた逞しさと豊かな知恵は、一朝一夕に培うことのできないかけがえのない宝であり、本市のみならず人類の財産であります。お一人お一人がこの命の宝をますます輝かせていかれる時、未来を担う青年の道も一段と強く太くなっていくものと思います。

私共も尊い人生の大先輩に学びながら、市民の皆様親しまれる紙面づくりを目指し、一層の努力をしてまいります。

議会広報特別委員会委員一同